

映像	内容
タイトル VTR	オープニングタイトル
スタジオ	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>廣川： 廣川陽子です。 さて、視聴者のみなさん、ここがどこかわかりますか？</p> <p>田村： どこでしょう、ここは！</p> <p>廣川： こちらは、EXPOCITYにある観覧車、 「レッドホース オオサカホイール」なんですが、景色はどうですか？</p> <p>田村： 太陽の塔があそこにありますけど、フィギュアみたいな大きさですよ。</p> <p>廣川： そうなんです。夏休み直前スペシャルということで、 今回はエキスポシティからお送りいたします。</p> <p>田村 すごいですね～、どれぐらいの大きさなんですか？ここは。</p> <p>廣川 日本一の高さということで、123メートルなんです。</p> <p>田村 日本一！？ すげ～。</p> <p>廣川 私たちが載っているゴンドラは、VIP用ということで 観覧車の中で2機しかないんですって！</p> <p>田村： 革張りですもんね、ソファ～が。</p>

廣川

高級感があります。

あ、すごい！ 真下見てください。

これね、全部シースルーになってるんですよ。今日は曇ってますけど、晴れてたら「あべのハルカス」まで見えるんですけど。

田村

相当すごいね。この景色は。

廣川：

そして、この「レッドホースオオサカホイール」ですが7月1日で開業3周年を迎えました！

田村：

へえ～、もう三周年！ おめでとうございます。

廣川

これまでもね、たくさんの方が乗ってこられたと思うんですが。

田村

これまで乗ったことの無い人のためにも、たくさんの機会が欲しいですよ。

廣川

シースルーも楽しんでいただきたいと思いますよね。

ということで、皆さんにプレゼントをしたいと思います。

この「レッドホースオオサカホイール」の乗車券を5組10名様にプレゼント致します！

田村：

おお～太っ腹！ ありがとうございます！

廣川：

ぜひ、お友達やカップルで乗っていただきたいと思います。

応募方法などは番組の最後にお知らせします。

そして、田村さんが発表するキーワードが必要となります。

田村；

何回かに分けて発表しますからね。

廣川：

ではまず1文字目、田村さんお願いします！

田村：

1文字目は、田村の「た」です！ 「た」でございます。
このあと何が続くのか、番組最後までご覧ください。

廣川：

そしてですね、この観覧車のふもとにある「ニフレル」という施設があるのはご存知ですよ。
あれに私、行ってまいりました！ 楽しかったんです～！

田村：

僕も子供連れて2回ぐらい行ってますよ。

廣川：

行ったことある人もない人も、楽しんでください。VTRどうぞ。

VTR

NA

「感性に触れる」をテーマにオープンした「ニフレル」。
水族館でもなく、動物園、美術館でもない、全く新しいコンセプトは
人気を呼び、この夏には500万人を達成する見込みの観光スポットと
なりました。

そんなニフレルに今年、新しいアイドルが誕生しました。
それはミニカバの赤ちゃん、名前は「タムタム」。

リポーター 廣川陽子

そこで、今回は私、廣川がニフレルの裏側に潜入し、
動物達と飼育を担当するキュレーターとの知られざる物語に迫ります。

タイトル「潜入！ニフレルの裏側にふれる」

NA

生きてるミュージアム「ニフレル」。
こちらには現在、魚類、爬虫類、哺乳類、昆虫類など、
およそ150種、2000点の動物がいます。

そんな動物達の世話をしているのが「キュレーター」と呼ばれる
飼育担当者です。

まずは館長の小畑洋（おばたひろし）さんにお話を伺いました。

ニフレル館長 小畑洋（おばたひろし）さん

もともとニフレルを作るときに、ただ単に生き物を展示して
「面白いね」って言ってもらえる施設ではなく、間に飼育をしている
担当者が入って、お客様と生き物、あるいは生き物の先にある自然と繋ぐ
役割をすると、それを大きな目的にしたんですけども、
敢えて「キュレーター」という言葉を選んで、お客様にもそうですけど、
自分たちへの自覚という意味でも良いかと選びました。

NA

現在、ニフレルのキュレーターは総勢25名。
飼育だけではなく、動物たちの展示方法も自分たちでアイデアを
出し合っています。
そんな中の一人が村上翔輝（しょうき）さん、28歳。
獣医でありながら、ホワイトタイガーと、ミニカバの飼育を担当しています。

リポーター 廣川陽子

今日は宜しくお願いします。
村上さんは何年目になるんですか？

キュレーター 村上翔輝さん

私は海遊館、ニフレル含めて5年目になります。

リポーター 廣川陽子

もともと海遊館にいらっしゃったんですね。
どうしてこのお仕事をしようと思われたんですか？

キュレーター 村上翔輝さん

野生動物がすごく好きで、どうしてもこういう職場に着きたいな
というのは昔から思っていました。

リポーター 廣川陽子

いかがですか？ 夢が叶った仕事現場というのは？

キュレーター 村上翔輝さん

動物って機械ではないので、毎日違う姿を見せてくれるっていうのが
あるんで、やり甲斐はありますけど、それと同時に命を預かっているという
部分がありますので、大変な仕事だなと改めて感じます。

NA

村上さんが担当するミニカバは、パンダ、オカピと並ぶ世界3大珍獣の
一つです。
アフリカの西海岸の森に生息し、数は2000～2500頭といわれ、
自然界では絶滅寸前の生き物なのです。

キュレーター 村上翔輝さん

野生の中では1頭でそれぞれちゃんと縄張りを持っている種類になるので、
オスやメスであっても普段別に暮らしているのが普通の暮らし方になるので。

リポーター 廣川陽子

群とか家族では動かずに個体で？

キュレーター 村上翔輝さん

そうですね。

NA

ミニカバの子離れはおよそ1年。
親子が仲良く並んでいる姿はまさに今しかありません。

さて続いて伺ったのは、魚類や水生生物のバックヤード。

リポーター 廣川陽子

すごい！こんなふうになってるんですね。
ここは病気の子たちがいたりとか、展示の前の、デビューする前の子たちが
沢山いるんですって。中の方もいいかな行って見て？
これはなんだろう？ オニダルマ。手を近づけない。
これか！岩かと思った。
ハコフグ。餌を食べないってことかな？のため隔離。
色々試してみてください。
こういうふうに試行錯誤みたいなものもバックヤードに来るとみられますね。
こういう努力があって展示室に魚たちがいるわけですね。

NA

それだけではありません。
ニフレルには爬虫類、鳥類、昆虫類など様々な動物がいます。
キュレーターはそのためどの動物にも対処できるようにアンテナを張り、
常に勉強し続けなければいけません。

ニフレル 小畑洋館長

もともと好きがベースにあると、その知識を吸収することって嫌な勉強を
やるのと、好きな勉強をやるのは、実は吸収が全然違うのと一緒で、
好きがベースにあるっていうことは、新しいことが入ってくることで、
自分への対価になるんですよね。
意外とそこは、むしろみんな楽しんでやってくれているはず。

NA

館長の言葉通り、展示フロアにはキュレーターたちの笑顔がありました。

ここで突然ですが、夏休み前特別企画。
ニフレルの人気ある展示ベスト3を紹介しましょう！

ニフレル 小畑洋館長

第3位は、ホワイトタイガー「アクア」君の食事時間！

NA

ニフレル1の人気を誇るホワイトタイガーアクアのご飯が第3位！

日に数回行われるアクア君の食事。
猫がネコジャラシを追いかけるように、トラの本能を上手く利用し、
運動させながらエサを与えているのです。

キュレーター 村上翔輝さん

ニフレルではトラの主に餌やりをするときなんですけど、目の前にエサを置くだけではなくて、しっかり運動とか、考えるとか、そういったことのできる工夫をあえて取り入れています。

ニフレル 小畑洋館長

第2位は「動きにふれるエリア」の生き生きとした動物たちです。

NA

セカンドフロアにある「動きにふれる」エリアは、キツネザルやカピバラ、ペリカンといった動物が放し飼いになっています。カピバラの鼻息やペリカンが羽ばたいた時の風などを直に感じることができ、まさに動物たちの動きにふれることができます。また、午前10時のニフレルオープン時、一斉にキツネザルが寢床から飛び出してくる姿はマニアの間では見逃せないアトラクションとなっています。そして・・・。

ニフレル 小畑洋館長

第1位は新しくできた「かくれるにふれる」エリアです。

NA

この春オープンした「かくれるにふれる」エリア。これは、いわば動物たちの擬態を見破ろうというエリアです。風景に溶け込んだ動物を、人は自らの目で見破ることができるのか！？

必死になって探す人が続出し、ニフレル内で滞在時間がもっとも長いエリアとなっています。

ただし、キュレーターの人たちはなぜか簡単に隠れた動物を発見してしまうんです。

いかがでしたか？

今回の「ニフレルの裏側にふれる」。

ただ動物が好きと言うだけでは務まらない仕事「キュレーター」。館長はこんな人こそキュレーター向きだと教えてくれました。

ニフレル 小畑洋館長

色んなことに興味を持てる人かなと思います。

でないと、それを伝えていくときに、色んなものに心がふれない人は世界が広がらない。

NA

最後に村上さんにもお話を伺いました。

キュレーター 村上翔輝さん

そうですね。担当になると色々なことを調べますし、どういうところで暮らしていて、どんなものを食べているのか調べますし、一頭一頭見ていかなければいけないので、自然と違うことをしてしまうと、何かがあったときにそれが問題になるわけで、一つの問題が命とりになったりする仕事でもあるので、安全に行きたいな。

リポーター 廣川陽子

お仕事では動物と会話をしながら、外に出るとお客さんとの対話も大切にされているということですね。

NA

「感性に触れる」ニフレル。この夏は見所がいっぱいです。

廣川：

ニフレルすごく楽しかったです～。

田村：

すごいですね～、キュレーターさんって言うんですね。
皆さん若かったですね～。

廣川：

そうなんです。20代の方が多くて、皆さんの工夫がいろんなところに散りばめられていて、生き物の生き生きした姿を見ることが出来ました。

田村：

僕何回か行ってるんですけど、タムタムの赤ちゃんが居なかったのも、名前が親近感を覚えずにいられない。
吹田が生んだ大スター「麒麟・田村」に合わせてきたんじゃないんですか？

廣川

かもしれないですね。

田村

おい。思っへんやないか。

廣川：

そんな新たなアイドルが居るニフレルからも、
プレゼントを頂いております。
ミニカバの赤ちゃん、タムタムのぬいぐるみを3名様に
プレゼントします！

田村

いいやん～、かわいいやん。3個もあるんや。

廣川：

応募にはキーワードが必要です。
では田村さん、キーワード2つ目をお願いします！

田村：

キーワード2つ目は、ムササビの「む」！

廣川：

キーワード2つ目は、ムササビの「む」です。
引き続きメモを取ってくださいね。
応募方法の詳細は番組の最後でお伝えします！

田村：

ひっぱりまーす！

VTR③_ワンポイント手話（1分）

スタジオ

田村：

さて、今回の「お元気」は、
エキスポシティからお送りしています。
今ここはどこですか？

廣川：

はい。今私たちは、EXPOCITYの外、
空の広場の前にいまして、子どもたちが遊んでいる姿もみれますけど、
ここからは、このEXPOCITYの激レアグルメをご紹介しますと思います。

田村：

お！いいですね～。何があるんでしょうか。

廣川：

まずは、アメリカ、シカゴ発のちょっと贅沢なポップコーン、
ギャレットポップコーンです！

田村：

行列で有名なポップコーンがなんとEXPOCITYで買えるとは
素晴らしいですね～！

廣川：

65年以上守られてきた秘密のレシピは
国境を越えて世界中で愛されています。
西日本でここだけなんですよ～。

田村：

チーズとキャラメルのバランスが最高なんですよ！

廣川：

食べたことありますか？

田村：

食べたことあります！

廣川：

いいな～、食べたことないんですよ。

田村：

食べてください！

廣川

じゃあ、キャラメルを。
ん～！これはそんじょそこのキャラメルポップコーンじゃない！
贅沢に絡まっています。

田村：

チーズもどうぞ。

廣川：

(食べる)
甘いもの食べた後って、しょっぱいの食べたくなくなるじゃないですか。
交互に食べたくなるのすごくわかります。

田村：

同時に食べてもおいしいしね。
これは食べておきたいね。

廣川：

続いては、神戸発の老舗洋菓子メーカー、モロゾフの代名詞・チーズケーキを
焼きたてで味わえるお店。窯出しチーズケーキ、エダムとゴーダの
2種類のチーズケーキがあるということで、こちらも味わえるのは、
西日本でここだけです！

田村：

なに？エダムとゴーダって。

廣川：

エダムチーズとゴーダチーズ、味がちょっとずつ違うんですよ。

田村：

じゃあ、エダムにしようかな。
ん～！ 旨っ！
まわりサクサク、中しっとり。
チーズがまた絶品や！

廣川

普通のチーズケーキと違いますか？

田村：

全然違う！
チーズ独特の香りから、甘みへのつながり方がすごいこだわりを感じる。

これ他で食べたことない！ チーズが本格的！

廣川：

いいな～、後で私も・・・

田村：

いや、だめです。

廣川：

なんでですか！食べさせてくださいよ。

田村：

スタッフさんこんなにいっぱいいるんですから、だめですよ。

廣川：

え～、わけわけしましょね。

続いて行っていいですか？

田村：

どうぞ～！

廣川：

最後はペコちゃんでお馴染み「不二家」の人気商品、カントリーマアムの
手作り体験ができる「カントリーマアムファクトリー」から
店舗で焼き上げた「窯だしカントリーマアム」です。
普通のカントリーマアムよりも大きいですよ。

田村：

だいぶ大きいですよ。2倍ぐらいありますよ。

これも窯出しやん。すげえ～。

廣川：

これは私も食べたいです。

田村：

だめですよ。

廣川：

いや、食べます！たべますよ～。

じゃあ私は…抹茶と黒豆が乗ってるんですよ。

黒豆が乗ってるクッキーってなかなか無いですよ。

あ！この割った時のしっとり感がすごい！

田村：

未だかつてないしっとり。カントリーマアム以上にカントリーマアム。

廣川：

すごい表現。

頂きます。

…抹茶の香りがすごいです！

黒豆の表面のツヤ具合と、ホクホク具合がクッキーと合いますね。

これは初めて食べた。

田村：

これはお菓子じゃないね。

廣川：

あれ？田村さん全部食べたんですか？

田村：

うん。

廣川：

早い～！

今回は三種類田村さんに楽しんでいただいたんですが、

今回ご紹介したグルメ以外にも EXPOCITY 限定商品がありますので。

田村：

限定があるのは良いよね～。

廣川：

皆様それらを探してみてくださいね。

さて、ここまで EXPOCITY の「見る」、「食べる」をご紹介しましたが、
まだまだ楽しめるスポットがあるんですよ、田村さん。

田村：

そうなんですよ。

EXPOCITY では、体験施設もありまして、

私田村が取材に行ってますのでどうぞ～！

ナレーション

まず向かったのは体験型英語教育施設「大阪イングリッシュビレッジ」。
アメリカンな体験ができる場所なんです。

田村

さあ、このゲートを越えたらアメリカになるということなので行きましょう。

船山さん

Hi, Mr. Tamura. What's UP!?(あ、田村さん！どうも！)

田村

なんて返したらいいかわからへんやん。

船山さん

一歩中に入ったらアメリカですので、会話はだいたい英語になります。

田村

へ～、すごいですね。こんなところあるんですね。

船山さん

はい。

ナレーション

案内されて向かったのは、こちら！

田村

すげ～！ ホワイトハウスや！ わ～、演説で見るやつや～！
そして、こっちが大統領が座る椅子みたいなことですか？

船山さん

はい。そうです。

田村

え～！ 楽しい！

Diamondさん

Hello! (こんにちは！)

田村

Hello! Nice to meet you. (こんにちは！はじめまして)

Diamondさん

Hi! My name is Diamond. Nice to meet you.
(どうも、ぼくの名前はダイヤモンドです。はじめまして)

田村

Diamond? Oh~!

ナレーション

と話しかけてきたのは、ダイヤモンド先生。
早速レッスンをスタートです!

Diamondさん

Do you know where is the White House?
(ホワイトハウスがどこにあるか知っていますか?)

田村

I don't know.
(知らないです)

Diamondさん

Here.Washington.
(ここ、ワシントンです)

田村

Oh! Here Here! Washington!

Diamondさん

Washington, D.C. is the capital of America.
(ワシントンD.Cはアメリカの首都です)

田村

Capital? 首都?

Diamondさん

Yes, Exactly
(そう、その通り!)

What's the capital of Japan?
(日本の首都はどこですか?)

田村

Tokyo.

Diamondさん

Very good!
(いいね～！)

ナレーション

このように簡単な例文をつかってレッスンを進めるのが、
大阪イングリッシュビレッジ流。田村さん、受けてみてどうですか？

田村

全く何も無い環境やと何言ってるか全くわかりません。
でも、ちゃんと話の軸があるんで、なんとなく
「このこと言ってるのかな」とか聞き取りやすさが増して行って
集中力が増して英語が入ってきます。すごい！

ナレーション

環境が大事なんですね。
大阪イングリッシュビレッジには23のシチュエーションルームがあり、
楽しみながら英語を学ぶことができますよ。
ってか、ほんま楽しそうですやん！

田村

ちょっと船山さん。むちゃくちゃ楽しいじゃないですか～！

船山さん

そう言ってもらえて嬉しいです。

田村

難しい単語も出てきますけど、リアルに外国の方とお話できるので、
少しずつコミュニケーションとれるだけでも楽しかったりして、
なんかほんとにアメリカ人になったような気持ちを少し味わえました。

船山さん

よかったです。

田村

これを体験してほしいので、何か…無料チケットとかないですかね？

船山さん

そうですね。
では、1レッスンチケットを5名様にプレゼントさせていただきます。

田村
マジっすか！無料？

船山さん
一応、無料です。

田村
おお～！すげ～！ありがとうございます！
観てる方にも体験していただいて楽しさを味わってほしいですね。
ありがとうございました。

ナレーション
続いて向かったのは、昨年オープンしたこちら！

田村
さあ、こちらが「新感覚アミューズメントスポーツ施設」ということで
ございますけども、あっ、よろしくをお願いします。

インストラクター
どうも田村さん、おはようございます！

田村
ここはどういう施設になるんでしょうか？

インストラクター
こちらなんですけど、…誰もが気軽に楽しめるバラエティースポーツ施設です。

田村
ギリギリ！ギリギリアウトくらいな感じで（笑）

ナレーション
ヤバすぎスポーツが集結！ いったいどんなスポーツなのか！
さっそく体験してみましよう。

インストラクター
こちら「ニゲキル」でございます。実際、猛獣と逃げてください。

田村
ほうほうほう。猛獣が追いかけてくるのを逃げ切れるかっていう
アトラクションなんですか？

インストラクター
そういうことです。

田村
お～！こわ～！

ナレーション
対決する猛獣はルーレットで決定。
田村さんの相手は、あら、かわいいパンダ。
40歳田村裕、パンダに勝てるのか！いざ勝負！

田村
あー出た！

インストラクター
あそこ田村さんです。あのオレンジのが。

田村
ああー！！

インストラクター
ギリギリ？ どっちだ？ 逃げ切った！

田村
シンプルにめっちゃ短い距離を走るだけやけど、
この逃げ切る設定があるだけでめっちゃ楽しい！

ナレーション
このほかにも30種類以上のアトラクションが2時間遊び放題！
おなじみのスポーツも楽しく遊べるようになっているんです。
家族、友達、恋人、だれとでも楽しめますよ。

田村
いや～、いろいろあって本当に楽しめますね～！

インストラクター
そうですか？ありがとうございます！

田村
新感覚で面白い！
本当に楽しいので、これを観てるみなさんにも感じてほしいので

何かプレゼントで、観てる人が遊びに来られるようなものを
いただけませんか？

インストラクター

何かですか？ そしたらじゃあ、招待券なんかどうですか？

田村

おお～！最高じゃないですか！いいんですか？

インストラクター

ただですね、僕に勝っていただいて。

田村

おお～、なるほど。タダではあげへんぞ、と。

インストラクター

そうです。

ナレーション

ということで、プレゼントを賭け、ガチンコ対決！

対戦するのは「Run & Run」。

強力なゴムでつながれた状態でどこまで走り切れるのか！

相手よりも前に行けたら勝ちです。

男、田村裕。プレゼントゲットなるか！

田村

なんとか招待券ゲットします！

現場スタッフ

位置について、用意スタート！

現場スタッフ

この勝負・・・、田村さんの勝ちです！

田村

いえ～い！ほんまに…目の前がチカチカした。

インストラクター

軽い酸欠になりますよね。

田村

人生でこんなに引っ張られることはないんで楽しい！

インストラクター

おめでとうございます。

田村

ありがとうございます！ なんとか招待券ゲットしました！

ナレーション

最後に向かったのはコチラ！

田村

ここですね、インフォレストすいた。

あっ、すごい！「お元気ですか」も流してくれてますよ！ すご～。

田村

こんにちは。どうも。

こちらはこういったお店になるんでしょうか？

店舗スタッフ

ここは吹田市の観光案内所的な、吹田市の魅力をたくさんアピールする
ショールームと置いていただければと思います。

田村

ショールーム。なるほど。

だから吹田市のいろんなものを取り扱っていると。

田村

実はですね、こんなものがありまして。

今あそこでも流してくれてますけど、この番組のチラシがあるんですよ。

これをちょっとここで配ってほしいなど。

店舗スタッフ

はい、かしこまりました。どこでもお好きなところに置かさせていただきます。

田村

ほんとですか。こんなものもあるんですよ。

店舗スタッフ

これは何ですか？

田村

ロケで僕に遭遇しないと貰えないレアな名刺なんですよ。
ここ全部取っ払ってもらって、ここにポツンと…。

店舗スタッフ

はい、かしこまりました。

田村

(笑) 大ウソつきじゃないですか！

田村

ここに来たら貰えるということに。なくなるまでは。
ぜひともこの番組を観て、ここに来て、吹田の情報を仕入れて、
「お元気ですか」の名刺を手に入れて、レアグッズなので。

店舗スタッフ

かしこまりました。

田村

なんでもいけそうやな。10万貸してくれませんか？

店舗スタッフ

(笑)

ナレーション

EXPOCITYに行かれた際にはお立ち寄りくださいね～

廣川：

プレゼントたくさん集まりましたね。

田村：

みなさん本当協力的で、最高！

廣川

最高ですよ。EXPOCITY ね。

ぜひ皆様にも来ていただきたいと思います。

では、改めてプレゼントのおさらいをしたいと思います。

まず、高さ日本一の観覧車「レッドホースオオサカホイール」より
ペア乗車券を5組 10名さまに。

生きてるミュージアム「ニフレル」より
タムタムのぬいぐるみを3名様に。

楽しみながら英語を学べる「オオサカイングリッシュビレッジ」の
1レッスンチケットを5名様に。

ヤバすぎスポーツが集結した「VSパーク」の招待券を
5組 10名様にプレゼントいたします。

はがき、またはインターネットで受け付けしています。

番組内で発表したキーワードやその他必要事項、

番組の感想も添えてお申し込みください。

詳しくは広報番組のホームページか、ツイッターをご確認ください。

では田村さん、最後のキーワードをお願いします。

田村：

最後のキーワードは「タム」です。

全部合わせると「タムタム」となっております！

廣川：

キーワードはタムタム。 田村さんじゃないんですね。

田村さん、ありがとうございます。

田村：

違います！ミニカバちゃん生まれましたから。

タムタムにあやかっておきましょう！

廣川：

応募に必要なキーワードは「タムタム」ですので、
このキーワードを必ず書いて応募くださいね。
たくさんご応募お待ちしております。

田村：

それではまた次回お会いしましょう。
さようなら。

廣川：

さようなら。